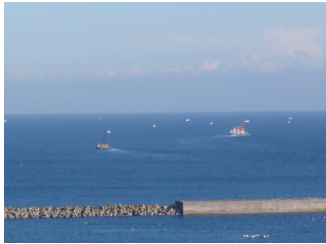


項目	内容
■取組タイトル	漁船の「沖だし」ルールづくり（根室市）
■団 体 名	落石漁協
■対象災害	地震・津波
■取組対象	漁業関係者、地域住民
■概 要	落石漁協に属する12名の漁民代表からなるワーキンググループを立ち上げ、漁民の津波に対する正しい理解と漁船の沖だし対応に関するルールづくりを行っている
■目 的	漁民の津波に対する正しい理解を深め、津波襲来危険時における安全の確保、適切な津波沖だし行動の促進
■実施内容	【実施時期】 実施時期：2006年に漁民代表からなるワーキンググループを設置 2009年に避難ルール案の作成を開始 場所：落石地区、沿岸部 【実施人数】 沖だしルールづくり：落石漁協に属する漁民代表 12名 【取組内容・項目の詳細】 2006年の千島列島地震に伴い、津波警報が発表されていたときの漁民の対応行動を見てみると、多くの漁民は沖だししていたが、その停泊場所や帰港タイミングなどは不適切なものとなっており、今後大きな津波が襲来した際には、多くの漁民が危険にさらされる可能性があることが危惧された。落石地区では、漁民代表からなるワーキンググループを立ち上げ、群馬大学（片田教授）と連携し、漁民の津波に対する理解と漁船の沖だし対応に関するルールづくりを行ってきた。また、漁民だけでなく地域住民も対象とした“津波防災講演会”、根室地域の防災関係機関より構成される“研究会”なども合わせて開催し、地域をあげて防災意識の啓発に取り組んでいる。  
■参考URL	http://www.ochiishi.or.jp/